

紫外線吸収剤

紫外線が皮膚がんや皮膚老化の一因になることは広く知られています。日焼け止めなどの紫外線防止成分が含まれた化粧品やパーソナルケア製品は、太陽光に含まれる紫外線から肌を保護して健康を維持する目的で、世界中で使われています。

これらの製品に配合されている紫外線防止成分には、大きく分けて、「紫外線吸収剤」と「紫外線散乱剤」があります。紫外線吸収剤は吸収した紫外線を熱などのエネルギーに変換することによって、紫外線散乱剤は成分の表面で紫外線を反射することによって、紫外線が皮膚の細胞に到達するのを防ぎます。

特定の紫外線吸収剤がサンゴ礁の白化を招くとの懸念があり、ハワイ州など一部のサンゴ礁のある地域において、これらの紫外線吸収剤を使用する日焼け止めの販売を禁止することが決定されました。一方、多くの環境分野の専門家は、気候変動、海洋酸性化等がサンゴの成育阻害や白化の主な要因と述べています。実際、対象海域の紫外線吸収剤の濃度は、“影響のない濃度である”、“ほとんど検出されない”という調査結果も出ています。

私たちは、各国・地域の法規制を遵守することはもちろん、皆さまに製品を安全にご使用いただくために、花王独自の安全基準*に基づいて詳細な安全性評価とさまざまな使用テストを行なっています。さらに私たちは、成分に関する最新の科学的知見について常に情報収集を行なっており、科学の究明が進んで新たに明らかになった事実も確認しています。今後も皆さまに安心して製品をお使いいただくために、これらの最新の科学的知見に基づいて、安全性を精査し、製品の改良を続けていきます。

なお、ご希望される方のため、紫外線吸収剤を含まない日焼け止めもご提供しています。



*花王の安全基準

<https://www.kao.com/jp/corporate/sustainability/topics-you-care-about/safety-quality/kao-quality/>